

〈ゆうゆうの里〉震災対応臨時ニュース No.5

2011年3月21日 (財)日本老人福祉財団

103-0012 中央区日本橋堀留町 1-7-7

Tel:03-3662-3611 Fax: 03-3662-3656

義援金の一部(20万円)を 公益社団法人日本認知症グループホーム協会 に届けました

今朝、公益社団法人日本認知症グループホーム協会を訪ね、救援活動に宛ててくださいと、募金の中から20万円をお渡ししてきました。17日現在ですが、岩手県内のグループホーム129ホームのうち、40ホームと連絡が取れていないそうです。中でも宮古市周辺では14ホームすべてと連絡が取れず、大船渡・釜石・陸前高田地区では16ホーム中2ホームと連絡が取れただけという深刻な状況だとお聞きました。連絡が取れているホームも、断水で給水車に頼っている、トイレが使えない、暖房用の灯油が無くなりそう、まきストーブで代用、食材は4・5日で切れる・・・などの状況をお聞きました。

11日の地震発生時東京に来ていた、グループホーム協会の会長さんが陸前高田で経営する施設に着いたのは13日だったそうです。交通途絶は想像を絶する状態だったようです。(田島)

義援金本日午後3時集計分で 義援金196万円になりました

昨日正午の集計では142万6900円でしたが、本日午後3時の集計では、募金(義援金)総額は

196万1924円になりました。

一日でおよそ53万円の募金が集まりました。

皆様の温かい気持ちをどのように生かしたのか、その都度ご報告します。引き続き募金にご協力お願いいたします

- *「義援金」は、「関係機関で構成される義援金配分委員会で決定し、被災者に配分」することになっています。
- * 短時間でこのように多額の寄付が集まっていることは、「今すぐ」の支援に使うことを望んでいらっしゃるものと理解し、被災者への緊急支援活動に使っていただくための調整を取っています。
- * 皆様の温かいお気持ちを、十分に生かせるよう調整していきます。

伊豆は無事です！ 皆様の復興を願っています！

3月11日の東北地方太平洋沖地震の時には、里(伊豆高原ゆうゆうの里)では入居者懇談会の最中で、沢山の方が集会室におられました。地震だと思い構えていると、長い揺れにだんだん不安になりました。伊豆高原は岩盤の為、大きな揺れもなく皆様ご無事ですので、ご家族、ご友人の皆様ご安心ください。

被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます

毎日報道される現場の様子に、心を痛めております。

伊豆高原ご入居者の声を紹介します

- 「狩野川台風(昭和33年9月)の時には、沢山の人に助けってもらったから、今度は私たちが助けなきゃ！」(入居者 K・Kさん)

- 「『お母さんは里にいるので安心。私たちのことも心配しなくて大丈夫よ！』と東京の娘から連絡がありました。」(入居者 N・Kさん)
(伊豆高原ゆうゆうの里 生活サービス課 藤原雅子)

湯河原〈ゆうゆうの里〉ドキュメント

地震、その時

地震発生～会議の最中突然に大きな揺れが

3月11日(金)会議室でチーフ(課長・主任)会議の最中に地震がありました。横に“ゆったり”と、そして長いゆれ。一瞬『東海大地震ッ？！』と頭をよぎりましたがスグに『長周期のゆれっぽい』と感じたので一瞬の心配はひとまず無くなりました。

次は火災報知器からの発報確認です。管理事務所に行くとき大きな警報音が管理事務所内に響いています。地震のゆれにより館内の防火扉はスグ閉じてしましますが、思った通り何か所か扉が閉じてしまったようです。火災報知器の表示盤のランプが何か所か点灯しています。表示箇所を確認したスタッフは各所へ向かいます

もう一つの心配は館内のエレベーターの停止です。湯河原〈ゆうゆうの里〉には6台のエレベーターがあります。こちらでもスタッフが確認に走りました。『停止しています』という報告が次々入ってきます。続いて『ボイラー停止してます』との報告には『わかった』と返事のみ二度目の揺れ～自分に「落ちつけ」と言い聞かす

私からは、『館内の異常を確認して、異常がなければ防火扉の復旧を行ってください』と指示をしていたところ、今度は“激しい”ゆれが起きました。(後に判りましたが、2回目の地震の震源地はより近くでした)

火災報知器の表示ランプが更に点灯箇所が増えました。『今の地震による館内点検を再度行ってください』、『診療所とケアセンターの入居者の状態確認を』、『エレベーターの閉じ込めはないかの報告を』、『生活サービス課は、一般住居棟の特に介護を受けている方の確認をしてください』と指示。返事を待つ間のじれったさと、自分に“落ち着け”と言いつつ聞かせていました。

次々と報告が・・・

『エレベーター閉じ込めはありません』、『入院患者さんに異変はありません』、『ケアセンター入居者の皆さんお変わりありません』・・・安心の声が入ってきました

館内の異常点検していたスタッフからは、『2号館と3号館のエキスパンション部の天井部に隙間ができました』と報告が、これまでにあった地震でも起きたことがあったので驚きはありません。

この間も余震が続き、都度『余震にご注意ください。高い所からの落下物にご注意ください』と管理事務所から放送を繰り返しました

館内の安全確認と設備の復旧作業を続けながら 余震の具合を確かめながらエレベーターが復旧したことを館内放送で伝えました

管理事務所では、非常住のご入居者(まだ住まいを移していない方)へ『地震の影響はありませんでしたか？ビックリしましたよね』と、お変わりなかったかどうかの電話連絡を開始しました。

ご居者全員の安否確認終了は翌朝

午後7時30分、入居者3名は外出されたままで確認とれず、「非常住」の方のうち7名と連絡がつかず心配だったのですが、翌朝9時30分にすべてのご入居者の皆さんと連絡がつき怪我もないことが分かりました。ホッと安心できた瞬間です。

東日本大震災救援募金(義援金)募集しています
〈ゆうゆうの里〉及び本部事務所に募金箱を設置しました。

累計額

196万円突破

- ☆ 寄付先や使途を指定される場合、寄付金控除のための領収書が必要とされる場合は、事務所へお申し出ください。
- ☆ 集まった募金は、日赤、共同募金会等を通じて被災地の救援活動や復興資金に充てます。